

1,583人

成人式 市内各地域で開かれる



鷺宮地域での成人式で祝辞を述べる田中市長（西コミュニティセンターで）

1月12日、市内4か所で恒例の「成人式」が行われました。市外在住の出席希望者60人を含め、対象者は総勢1583人。各地域で開かれた式典では、なつかしい友人を見つけて、会場のあちらこちらで「歓談の輪」ができていました。対象となる成人は、昨年よりも129人の減少となりました。

若者が希望を持てる社会に！

地域別の成人数

	男	女	合 計
旧久喜	392	343	735
菖蒲	88	95	183
栗橋	160	145	305
鷺宮	198	162	360
地区計	838	745	1,583

2月議会の主な予定

2月 3日（月）	開会日 市長提案
11日（火）	代表質問（杉野議員）
12日（水）	一般質問
13日（木）	一般質問
17日（月）	一般質問
18日（火）	一般質問
20日（木）	議案質疑

代表質問を行います
（2月11日午前9時から）
2月の予算議会では、田中市長の任期最後の施政方針が発表されます。議会の各会派では、それに対して「代表質問」をおこないます。
2月11日は祭日ですが、日曜議会の位置づけでおこなわれます。
合併以来、住民負担を押し付けてきた市政を正す機会にもなります。
ぜひ、傍聴にお越しください。



訓練に参加した東部消防の消防自動車



1月17日市役所本庁で火災時避難訓練を実施しました。

野辺地町との友好都市提携の経緯
野辺地町とはこれまで菖蒲町と本多静六氏をきっかけに交流し、提携する。合併後も久喜市民祭りや野辺地祇園祭り（産業交流）などで相互交流。野辺地町は人口14,452人、面積81.61km²。ホタテ漁や、野菜のこかぶなどが有名。

1月21日、友好都市として提携している、青森県野辺地町議会と久喜市議会間で懇談会が行われました。野辺地町からは14名の内12名の方が参加されました。
懇談では、関東平野の広々とした久喜市にびっくり、こんな地域に住んでみたいとの感想や、野辺地町の特徴が語られ、バナナ状に海に面している町で、「ほたて」の養殖が盛んであること。又、積雪は1メートルを超え、冬は早起きして雪かきから始まる。除雪の予算は1億円以上、高齢者の除雪は地域で協力しながら対応しているなど語られました。「これからも、交流が深めましょう」との合意のもと閉会となりました。



市役所で開かれた両議会の懇談会のようす

青森県野辺地町議会のみなさんと懇談しました

住民要求をかがげ一般質問を通告します

予定

渡辺まさよ



1、国保税の引き下げについて

国民健康保険税は市民の健康と命につながるものです。平成24年度の収納率は66.6%と大変低く、収入に占める割合も9.2%と、高くても払い切れない現状が続いている。これまでも引き下げを要求してきた。平成24年度と同様の法定外繰入をして、繰越金、基金を使えば、ひとり1万円の引き下げは可能ではないか。引き下げをするべきだが。

2、久喜市営釣り場の改善を

これまで久喜市営釣り場の、来客増や改修、赤字改善の要望をしてきた。協議会での協議内容、今後の取り組み、改善点について伺う。

3 小中学校の指導加配について

平成25年度、少人数加配などを行ってきたが、26年度はどのようなになるのか。子どもたちの学習、生活、安全管理の上でも減らすべきではない。どのように対応するのか。

4、清久公園の管理について

高木低木の管理を年間計画の中に位置づけるべきである。駐車場の公園利用者外駐車をしっかり管理すべきではないか。

石田としはる



1、南栗橋液状化対策事業

被災を受けた範囲にとどまらず、広範囲で推進し、実証実験後のスポーツ広場は環境整備を万全に。

2、スポーツ広場の管理を万全に

久喜市立体育施設など指定管理に移行する。ソフトボールなどで利用する際、利用者が砂入れなどとしてグラウンド整備している。改めるべき。

3、水道使用料引下げを

増税が予定される中、水道使用料金を引下げて、市民の暮らしを守ることが求められる、引下げるべき。

4、商店街の街灯をつけ明るい街に

栗橋の商店街は、大型店舗の進出や利根川の堤防強化事業の影響を受け、閉店に追い込まれた結果、街灯が消え暗い商店街になっている。街灯に灯を入れ明るい街に。

5、安心して交差できる道路に

宇都宮線の東側を並行して走る、栗橋から鷺宮八甫へ行く市道680号線。この道路に接続する栗橋434号線は、車両が交差するにも厳しい、整備を急ぐべき。

6、公民館使用料を無料に

市民や団体などが利用しやすい公民館となるよう、使用料を無料にすべき。特に栗橋公民館が管理する体育館を、スポーツ少年団や子ども会等が利用する際は、小学校利用と同様に無料にすべき。

杉野おさむ



1、東鷺宮駅西口自転車駐輪場

跡地の活用策について

①多くの利用者が反対の声を上げ、これまでの無料自転車駐輪場を廃止してしまった。しかし、跡地の活用が緊急でなければ、一定のスペースは無料で駐輪することも認めても良いのではないかと。

②派遣社員で低収入の若者には、有料の自己負担は大きい。また、跡地の活用は、市民参画で検討をすべきでは。

2、水害対策の強化を

①局所豪雨の際、市内、とくに鷺宮地域の冠水被害が長い間、住民の生活を脅かしてきた。

とりわけ、わし宮団地2・3街区周辺の道路冠水がひどい。道路部分の地盤沈下が原因になっている。この間、青毛堀川に雨水を導水する提案もしてきた。

②今回は、団地の敷地内（冠水地域の近く3街区）に遊水池を設置できないかを提案し、伺う。

3 東鷺宮駅東地下道の早期改修を

①下道バリアフリー化の設計業務の進捗状況を伺う。

②東口のエスカレーターの出入り口は駅舎床面と同じ高さにすべきだが、JRとの協議状況はどうか伺う。

③協議の最終結果を待たずに、着工を行わせるべきではないか。

木村ともり



1 社会保障と税の一体改悪と「プログラム法」の影響

介護保険制度の改悪が自助・自己責任の名のもと本来の医療と福祉の間を埋める役割と目的が形骸化されようとしています。

①訪問介護・通所介護の切り捨てと自治体へ投げ捨てによる影響は。その対応はどのようにするのか。

②特養ホームへの入所基準、介護度3以上の厳格化による影響は。

③特養ホーム待機者解消への具体的な計画と将来展望は。

2 生活保護制度改悪の影響とその対策を

①生活保護受給減額による影響をどのように把握しているのか。

②その他連動する多制度への影響は。

③この影響を改善・解消する対策をすべき。

3 緊急福祉・生活基金の創設を

①市民生活の状況をどのように把握しているのか。

②生活保護や生活困難者の相談状況は。その対応はできているのか。

③制度へ結び付けるまでの、活用できる基金を。

4 小中学校にクーラーの設置を

最近の高温・高熱化によって、学校での教育環境が著しく悪化しています。このため、普通教室にクーラーを設置する自治体も増加しているなか、久喜市でも早急に設置すべき。

5 歩道の段差、障害物の改善と安全対策を